

環境に関するアンケート調査結果

省エネ・再エネ社会推進課

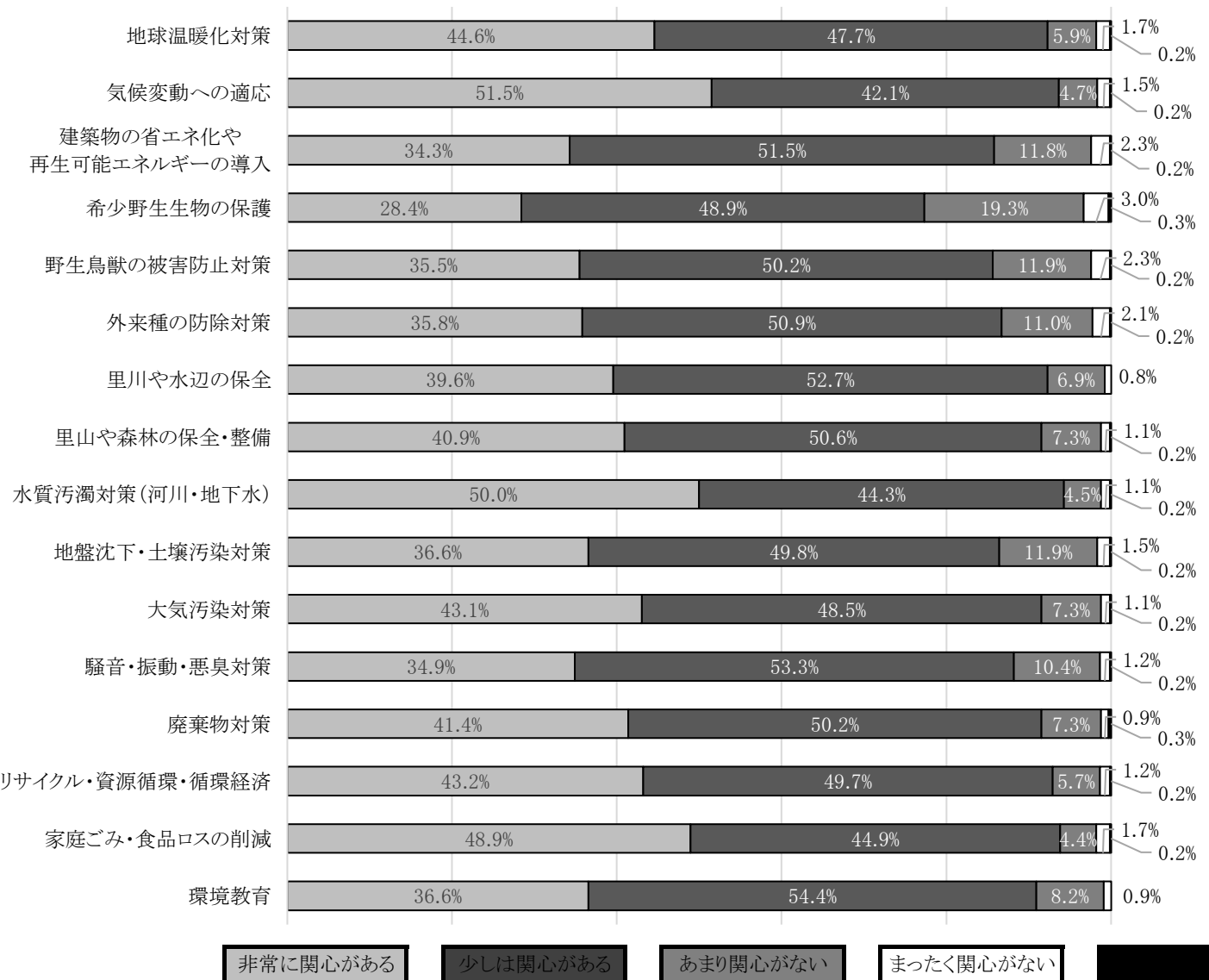
1 調査目的

今後の環境に係る施策の参考にするため、環境に関する皆さんの率直なご意見やご感想を伺いました。

2 調査結果

問1 あなたは、環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。

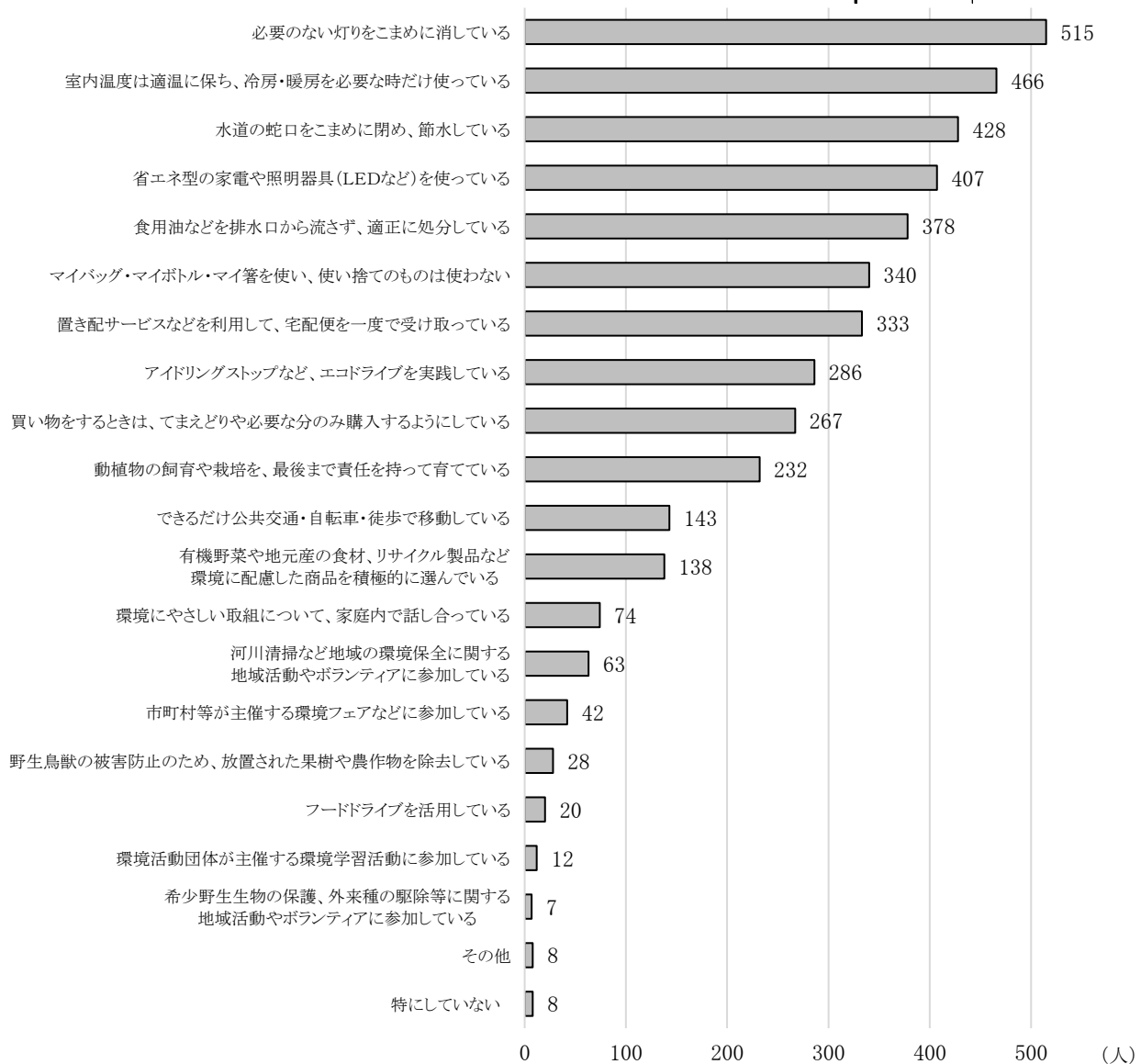
	非常に 関心がある		少しは 関心がある		あまり 関心がない		まったく 関心がない		無回答		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
地球温暖化対策	295	44.6%	316	47.7%	39	5.9%	11	1.7%	1	0.2%	662	100%
気候変動への適応	341	51.5%	279	42.1%	31	4.7%	10	1.5%	1	0.2%	662	100%
建築物の省エネ化や 再生可能エネルギーの導入	227	34.3%	341	51.5%	78	11.8%	15	2.3%	1	0.2%	662	100%
希少野生生物の保護	188	28.4%	324	48.9%	128	19.3%	20	3.0%	2	0.3%	662	100%
野生鳥獣の被害防止対策	235	35.5%	332	50.2%	79	11.9%	15	2.3%	1	0.2%	662	100%
外来種の防除対策	237	35.8%	337	50.9%	73	11.0%	14	2.1%	1	0.2%	662	100%
里川や水辺の保全	262	39.6%	349	52.7%	46	6.9%	5	0.8%	0	0.0%	662	100%
里山や森林の保全・整備	271	40.9%	335	50.6%	48	7.3%	7	1.1%	1	0.2%	662	100%
水質汚濁対策(河川・地下水)	331	50.0%	293	44.3%	30	4.5%	7	1.1%	1	0.2%	662	100%
地盤沈下・土壌汚染対策	242	36.6%	330	49.8%	79	11.9%	10	1.5%	1	0.2%	662	100%
大気汚染対策	285	43.1%	321	48.5%	48	7.3%	7	1.1%	1	0.2%	662	100%
騒音・振動・悪臭対策	231	34.9%	353	53.3%	69	10.4%	8	1.2%	1	0.2%	662	100%
廃棄物対策	274	41.4%	332	50.2%	48	7.3%	6	0.9%	2	0.3%	662	100%
リサイクル・資源循環・循環経済	286	43.2%	329	49.7%	38	5.7%	8	1.2%	1	0.2%	662	100%
家庭ごみ・食品ロスの削減	324	48.9%	297	44.9%	29	4.4%	11	1.7%	1	0.2%	662	100%
環境教育	242	36.6%	360	54.4%	54	8.2%	6	0.9%	0	0.0%	662	100%



問2 あなたは、どのような環境にやさしい行動をしていますか。（複数回答可）

回答者662人

	回答数	割合
必要のない灯りをこまめに消している	515	77.8%
室内温度は適温に保ち、冷房・暖房を必要な時だけ使っている	466	70.4%
水道の蛇口をこまめに閉め、節水している	428	64.7%
省エネ型の家電や照明器具(LEDなど)を使っている	407	61.5%
食用油などを排水口から流さず、適正に処分している	378	57.1%
マイバッグ・マイボトル・マイ箸を使い、使い捨てのものは使わない	340	51.4%
置き配サービスなどを利用して、宅配便を一度で受け取っている	333	50.3%
アイドリングストップなど、エコドライブを実践している	286	43.2%
買い物をするときは、てまえどりや必要な分のみ購入するようにしている	267	40.3%
動植物の飼育や栽培を、最後まで責任を持って育てている	232	35.0%
できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動している	143	21.6%
有機野菜や地元産の食材、リサイクル製品など環境に配慮した商品を積極的に選んでいる	138	20.8%
環境にやさしい取組について、家庭内で話し合っている	74	11.2%
河川清掃など地域の環境保全に関する地域活動やボランティアに参加している	63	9.5%
市町村等が主催する環境フェアなどに参加している	42	6.3%
野生鳥獣の被害防止のため、放置された果樹や農作物を除去している	28	4.2%
フードドライブを活用している	20	3.0%
環境活動団体が主催する環境学習活動に参加している	12	1.8%
希少野生生物の保護、外来種の駆除等に関する地域活動やボランティアに参加している	7	1.1%
その他	8	1.2%
特にしていない	8	1.2%
計	4,195	-



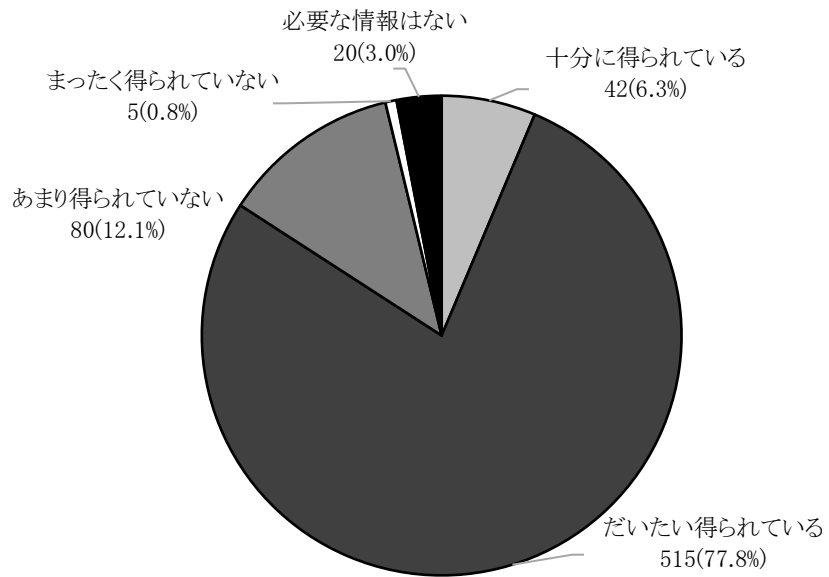
○その他のうち、主なもの

- ・紙類、布類についても家庭内で使い回す
- ・ゴミ拾い
- ・家で野菜を作り、化学肥料を使用しない

問3 あなたは、環境問題を考えたり、環境にやさしい行動を実践したりするために必要な情報は得られていますか。
また、「あまり得られていない」または「まったく得られていない」と答えた方は、得られていない情報をお答えください。

回答者662人

	回答数	割合
十分に得られている	42	6.3%
だいたい得られている	515	77.8%
あまり得られていない	80	12.1%
まったく得られていない	5	0.8%
必要な情報はない	20	3.0%
計	662	100.0%



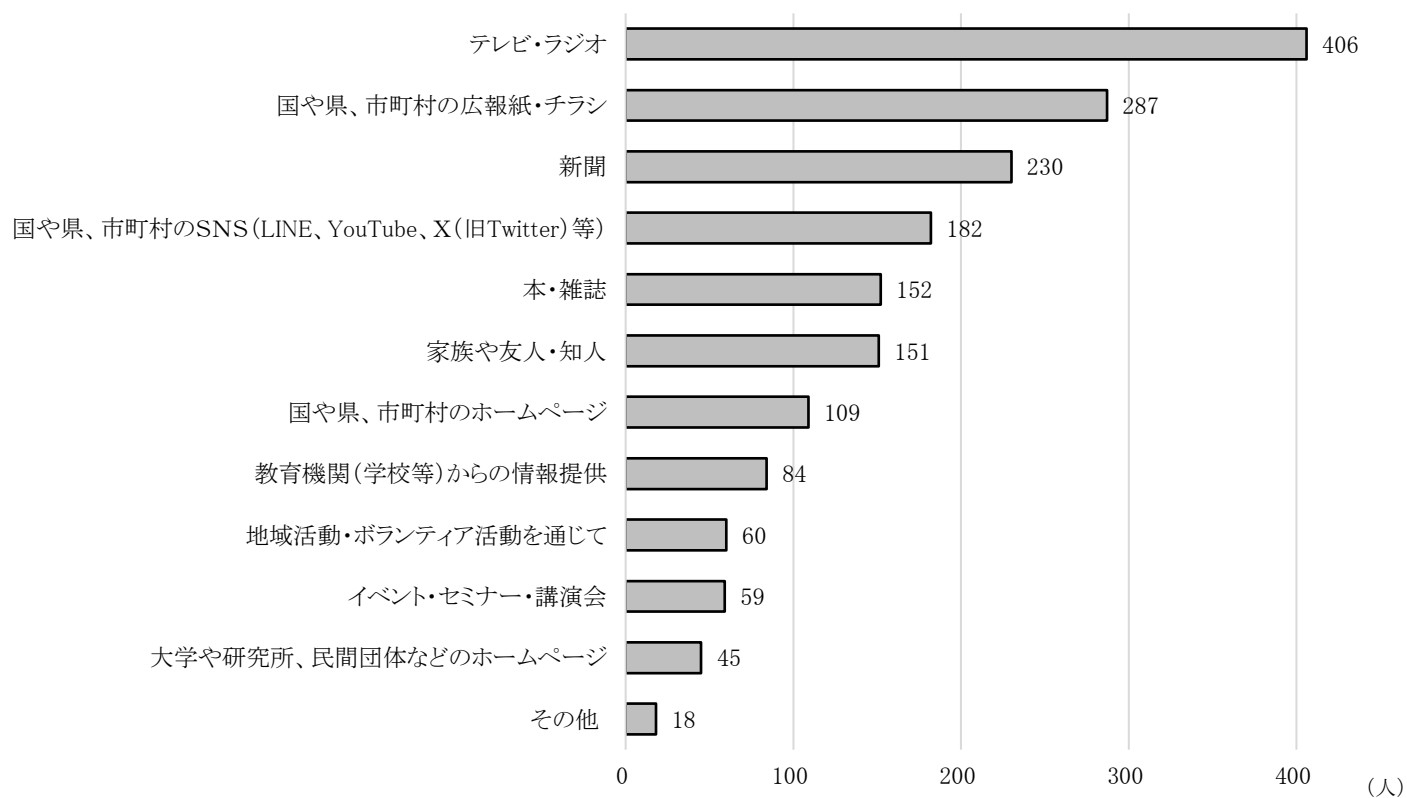
○得られていない情報のうち、主なもの

- ・日常生活でできる環境に優しい行動の具体的な事例と、それによる改善効果
- ・小さい子供でもできる活動や取組についての情報
- ・そもそも必要な情報とは何かがわからない
- ・今後の地球の気候変動について
- ・不用品交換やフードドライブの情報

(問3で「十分に得られている」「だいたい得られている」「あまり得られていない」と答えた方)

問4 あなたが環境問題を考えたり、環境にやさしい行動を実践したりするために 必要な情報を得る主な手段は何ですか。(複数回答可)

	回答数	割合
テレビ・ラジオ	406	63.7%
国や県、市町村の広報紙・チラシ	287	45.1%
新聞	230	36.1%
国や県、市町村のSNS(LINE、YouTube、X(旧Twitter)等)	182	28.6%
本・雑誌	152	23.9%
家族や友人・知人	151	23.7%
国や県、市町村のホームページ	109	17.1%
教育機関(学校等)からの情報提供	84	13.2%
地域活動・ボランティア活動を通じて	60	9.4%
イベント・セミナー・講演会	59	9.3%
大学や研究所、民間団体などのホームページ	45	7.1%
その他	18	2.8%
	1,783	-

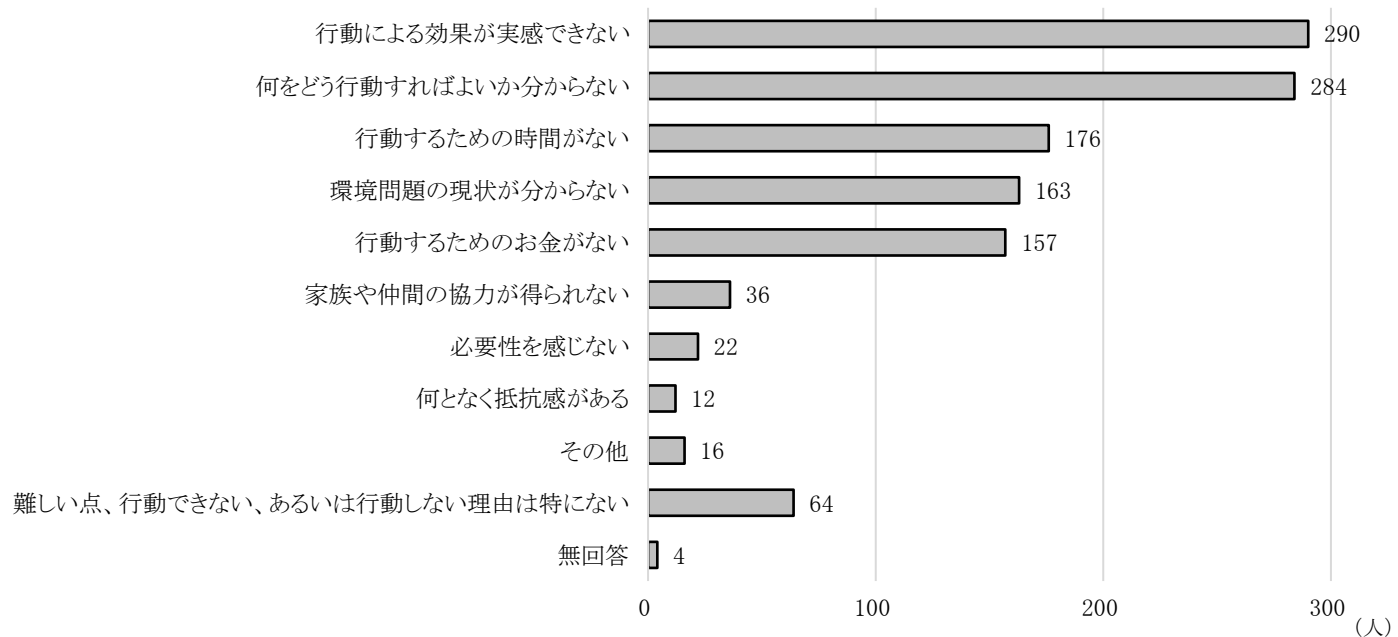


○その他のうち、主なもの

- ・インターネット
- ・インスタグラム
- ・有識者が発信しているSNSなどの情報
- ・会社の教育

問5 あなたが環境にやさしい行動を実践するうえで難しいと思う点、行動できない、あるいは行動しない理由は何だと思えますか。（複数回答可）

	回答者662人	
	回答数	割合
行動による効果が実感できない	290	43.8%
何をどう行動すればよいか分からない	284	42.9%
行動するための時間がない	176	26.6%
環境問題の現状が分からない	163	24.6%
行動するためのお金がない	157	23.7%
家族や仲間の協力が得られない	36	5.4%
必要性を感じない	22	3.3%
何となく抵抗感がある	12	1.8%
その他	16	2.4%
難しい点、行動できない、あるいは行動しない理由は特にない	64	9.7%
無回答	4	0.6%
計	1,224	-



○その他のうち、主なもの

- ・日常生活に余裕がない。
- ・わかってはいても、めんどくさいと感じてしまう。
- ・環境問題に対する意識が低い。

問6 その他、県の環境行政に関してご意見などがございましたら、お聞かせください。

○ネット回答者のうち68人、郵送回答者のうち13人の方から、貴重なご意見をいただきました。（記入率12.2%）

・岐阜県の環境行政の現状が把握できていない。広報や実践活動を広め、各市町村毎にテーマとゴール目標を決め活動を行なってはどうか。

・みんな環境問題には関心は大いにあると思うが、それに対しての具体的な方法・行動となるとどのような対策が良いのか理解が少ないのだと思う。例えば、二酸化炭素を減らしたいとは思っているが車を利用しないなどの小さな行動でも効果にちゃんと繋がっているのか？よくわからない…など。教えてもらえると参加している意識が高まると思う。

・市民に分かり易いような活動が必要かと思えます。

・将来を担う若い世代が、環境問題を自分ごととして考え、行動につなげられる取組が重要だと感じています。学校や地域を通じて、身近な生活と環境とのつながりを分かりやすく学べる機会が増えることで、環境への関心が継続的に育まれると考えます。若い世代が主体的に参加できる仕組みや、日常の中で実践しやすい環境施策が、今後さらに広がることを期待しています。

・熊など野生動物の被害を少なくするための山林の整備。

・今年は熊被害が各地で発生しているが、岐阜県も獣被害対策に積極的に取り組んで欲しい。

・まだ使える不用品の循環や修理、リサイクル、アップサイクルの拠点を作れないか。

・フードドライブを行なっている場所を増やしたりもっと告知をしてほしい。知らない人が多いと思います。

・水質管理、ゴミ処理場や処分場の実情を、もっと県民に経費実態を含めて、見やすく突きつけるべきではないでしょうか。必要な論点を明確化して提示していただきたい。

・県民が環境変化で気付いた時、話を持っていけるところがわからない。些細な点でも拾い上げる場があると良い。

・適応策の強化と温室効果ガスの排出削減は車の両輪ですが、再生可能エネルギーの導入においても、環境保全とのバランス、そして地域住民への十分な説明と合意形成が不可欠です。私たちは、真に持続可能な未来のために、この問題に正面から向き合う必要があると実感しています。